

学校だより：

岩中リポート

臨休第1号

令和2年3月6日（金）発行 発行責任者 校長 馬場廣明

生徒の皆さん、充実した毎日を送っていますか？

3月4日（水）より「新型コロナウイルスの影響」により臨時休校となりましたが、生徒の皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。3年生は高校入試が終わり、とりあえず合格発表まではゆっくりできるのではないのでしょうか。今までの受験勉強で頭も体も疲れているかと思いますので、まずは今までの疲れを癒やしゆっくりしてください。また、生徒の皆さんは一日中、家の中での生活が中心だと思います。かなりのストレス感があるかと思いますが、こういう時だからこそ我慢することが大切です。時折、外の空気を吸ったり体操をしたりして気分転換を行ってください。このような人はいないかと思いますが、一日中、スマホの動画を見たり、ゲームをしたりはよくありません。時間を決めて、家族で決めたルールのもとで進めてください。



学校内も静かです・・・。

生徒のいない学校、本当に静かです。先生方は学年末ということもあり、通知票や修了証書の作成、各教室の整理整頓など慌ただしく動いています。また、3年生の先生方は高校入試関係の仕事に、1、2年生の先生方は卒業式関係の仕事に、松本教頭先生と教務主任の大竹先生は入学式や次年度の行事関係などの仕事に取り組んでいます。体育館を覗くと、1学年の千田尚人先生が卒業式会場の国旗の看板が少し曲がっていると微調整作業に取り組んでいました。県立高校入試全員合格、卒業式の大成功に向けて、先生方も全員が休む間もなく動いています。本当にありがたいことですね。

本校ホームページを覗くと・・・。

お陰様で3月3日（火）のひな祭りの記念すべき日に、**アクセス数88万件を突破**しました。また、担当の3学年主任の廣瀬和行先生は進路関係で何かと忙しいなか、3年生のフォトアルバムを新しいバージョンに（今回で3回目）更新してくれました。1日平均1000件のアクセス数、先生方の生徒を思う優しさがこのアクセス数に表れているのだと思います。本当にありがたいですね。

延期の修学旅行の期日が決まりました！！



新型コロナウイルスの影響により、延期が決定した新3年生の修学旅行の期日が決定しました。9月5日（土）～7日（月）2泊3日、関西方面（奈良・京都・大阪）に飛行機で！変わったところは期日のみです。旅行の行程や宿泊ホテルなどは予定していたものと全く同じです。また、料金についてはキャンセル料等は発生しませんが、飛行機代としていくらか集金がある予定です。詳細につきましては、新年度になってからお子様をおしえてお知らせいたします。とりあえずは、期日が決まりほっとしているところです。まずは一日も早く、新型コロナウイルスが終息してもらうことが一番です。学年主任の宗像由紀先生を中心に学年の先生方の対応が早く、早期に解決することができました。秋の関西方面も時期的にいいと思います・・・。

卒業生へ在校生より、お祝いメッセージが！

在校生の1、2年生より卒業生に向けてのお祝いメッセージが掲示されています。各学年の先生のご指導のもと心が込められた内容のものです。普段文字を書くのが苦手な生徒も1字1字ていねいに書かれており、きれいに仕上げられています。卒業式当日も1階廊下に掲示してありますので、卒業生の保護者の皆様もぜひご覧いただければと思います。すばらしい伝統が継承されています。先輩を思う気持ち、感謝の気持ちが表れているすばらしい作品です。ありがとうございます。



保護者の皆様も「ドリームサポーター」を目指しましょう！！

「ドリームサポーター」って何？これは須賀川市教育研修センターだより「みち」第95号／2月20日発行の記事に載っていた内容です。（全文より）「応援してほしい人はだれですか？」と子どもたちに尋ねると、家族や先生、友達、コーチなど身近な人をあげます。しかし、期待や思い、愛情が強い身近な人々だからこそ、つつい力が入りすぎ、いつも間にかドリームキラーになってしまうこともあるようです。ドリームキラーになっていませんか？

〈ドリームキラーチェック！！〉

- ☐ 子どもができることより、できないことが気になる。
- ☐ 「無理なんじゃない？」「どうせできないよ」「それは不可能」と言ったことがある。
- ☐ 他の子どもと比べてしまう。
- ☐ 結果ばかり気にして、取り組み方をほめてあげない。
- ☐ 前例がないから「やれない」と思い込んでしまう。
- ☐ 子どもにはできるだけ苦労させたくないと思っている。
- ☐ 思うような結果を得られず、責任を押し付けたことがある。
- ☐ 「私の言うとおりにやりなさい」と活動を限定してしまう。
- ☐ 「この子、だめなんですよ～」と本人の前で否定するような言葉を出したことがある。



子どもたちの夢に対して、「信じているよ」「できるよ」と勇気づけ、見守りながら背中を押してあげるドリームサポーターを目指しましょう。このチェック項目を見て、私自身がドリームキラーの子育てだったなあと今、反省しているところです。どうしても良いところを褒めることよりも、欠点を指摘し叱る指導になりがちであると思います。保護者の皆様も気をつけましょうね！

校長室内の一角が・・・。

校長室内は春爛漫、新型コロナウイルスなんて、全く関係なし。室内の一角が「お花見コーナー」（仮称）となりました。これまた用務員の深谷良子さんのアイデアです。校長室内はいつもお花でいっぱいです。これ以外に机の上にも数多くあります。やはりお花など美しいものが毎日見れると、仕事の張り合いも変わってきます。このようなすばらしい環境のもとですばらしい仕事を毎日している？私は本当に幸せです。また、隣の職員室ではいつも笑顔と笑いがあり、職員室内でもお花畑のように先生方が輝いています。本当に本校の教職員は気さくで明るく、仕事ができる集団です。心強く感じています。

